

社会福祉法人安房広域福祉会 広報誌

# にじのかけはし

vol.  
59  
2023.06



発行年月日  
令和5年6月15日

発行  
社会福祉法人 安房広域福祉会  
〒294-0231 千葉県館山市中里288-1  
TEL 0470-28-2022  
FAX 0470-28-2023  
<http://www.nakazato.or.jp/>

# 思い起こせば

岡田 義之

還暦を迎えた3月末で定年退職しました。これまで多くの方々に支えていただき感謝の気持ちでいっぱいです。昭和62年「中里の家」が開設の年、実家に帰るため一年間務めた会社を退職し、まったく知識のない福祉の仕事に飛び込みました。真新しい施設と作業用の園芸温室。思い出深いのは園芸担当として温室を活用し利用者と共に洋ラン栽培に取り組み、切花として各市町村の市役所等に訪問販売に行きました。当時はシンプルウムが高級花で高値で売れたものです。帰りは豪華として外食の許可をいただき、利用者の方々と楽しい食事のひと時です。領収書を持ち帰ると「何をこんなに食べたんだ…」と施設長は笑いながら…よき思い出であり、長く就労支援に取り組んできた原動力だったのかも知れません。

これまでの職業生活の中で想うことは何事も「樂しない」ではないかと思うのです。会社員時代の営業も、施設職員として取り組んだ生活支援、就労支援、そして、行事も、自分が先ず遊び心をもって楽しめば、周囲も楽しめる。そんな思いで、利用者の方々の楽しみを創ってきたつもりです。

利用者のお母さんがこんな話をされました。「この子がいてくれたおかげで、私は多くの方との繋がりや、交流が持てて幸せです」と。そこで私たちの看てくれるべきことは、そのように思えるに至る過程での心苦勞や、さまざまな想いを真摯に受け止め、日々の支援に取り組むべきだと思うのです。

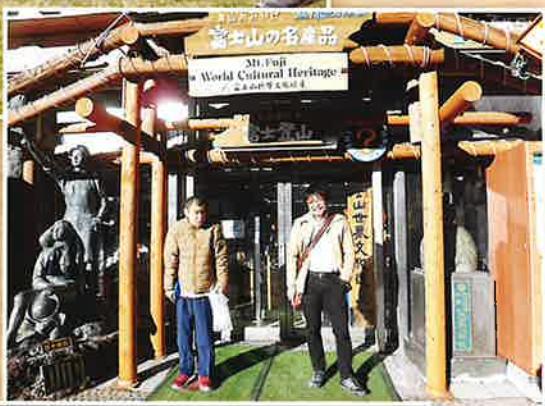
4月以降常勤理事としての役割で、わいわい協力させていた大きながら、これから的时间を有効に、楽しんでいきたいと思います。幸いにも趣味は豊富…古いもの好きで車はクラシックなシトロエン、バイクも旧車のGT-380にCB400Fと語れば…くらいでも、この法人の機関紙の連載に岡田の部屋を書きたかったけど原稿依頼は無く残念…笑。定年後のために購入したBMW R1250GSでしまり家を飛び出してロングツーリングと考えていましたが、時間が思うように作れないくて…

還暦を迎えて、新たなチャレンジを試みて、遊び心を忘れず、日々を過ごしてまいります。





## 思い出の部屋



## 新年度を迎えて

統括施設長 鳩山 正昭

37年目を迎えた「中里の家」では異動や配置換えなどもあり、新たな体制で支援を展開しております。私も法人に平成7年4月から勤務させていただき、平成20年8月から中里の家の施設長を勤めさせていただいております。この4月からは統括施設長を拝命いたしました。法人の継続と発展を使命として精一杯努めてまいります。

特に今年度、中里の家では昨年度から継続して進めている国庫補助を受けて居住棟建設が本格的に始動してまいります。既存の施設は入所定員70名で居室は3人部屋や4人部屋の多床室であり、個室化を図るため施設に隣接しているグランデに女性棟として30名、木造平屋建て、建築面積930m<sup>2</sup>を建設してまいります。今後は、既存の施設の個室化改修についても具体的な整備計画を作成し、準備を進めてまいります。

利用者支援では福祉の基本となる対人援助について、法人理念である「自他相愛」を常に意識して行動していくことや私たち職員は利用者の方々の様々な行動や感情を出来るだけ正確に読み取ることが求められております。

利用者の方々の願いをどこまで汲み取り、どれだけ日常の生活に反映できるかという意識を持つことが大切で、それが適切な支援の提供につながることと考えております。

また、利用者の高齢化に伴う認知症状に対する対応や機能低下による転倒などのリスクに対する適切な介護を行うための介護技術の習得、重い障害を持つ方への対応など幅広い支援がさらに必要となってきております。それぞれの年齢や障害の特性などを踏まえて、利用者の方々が快適に暮らせる住環境の整備を今後も取り組んでいきたいと考えております。これからも基本を大切にして、出来ることから一つずつ確実に取り組んでいくことで利用者・家族、地域から信頼される施設づくりを目指していきたいと思いますので、今後も皆様のご理解と協力をよろしくお願いいたします。

## 満開の桜に思う事

施設長 鎌田 浩幸

桜の満開とともに、令和5年度がスタートしました。

「ケアホームなかざと」では利用する方が「安全で安心した快適な暮らし」が出来るよう「自他相愛」の理念に基づき、家庭的な雰囲気を大切にその人らしい生活の実現を目指した支援を行いたいと思います。本年度の重要な事項として、プライバシーに配慮した生活環境の整備を行い、利用者間の相性や障害特性を理解し、状態の変化を見逃す事の無い統一した支援に努めると同時に地域の方々にグループホームを知つて頂き、災害時の協力体制の強化と、地域の一員である事を目指し支援を実施して行きたいと考えています。

寒さに耐えた満開の桜を見て、私たち職員も利用されている方々の充実した生活を桜の様に満開に咲かせたいと考えます。

## 生活介護事業所 桜の里

施設長 江部 純子

今年、開所してから10回目の春を迎えるました。桜の里は春になると、まさに施設名にふさわしく、近隣の山本壇に河津桜やそめいよしのが咲き誇ります。そんな、桜のよひに皆さんの心を温かくできるような施設をこれまで目指してきました。開所して11年、時が経つのは早いものです。桜の里は、定員20名と小規模の事業所なので、よりぎめ細やかな支援と利用者やご家族に寄り添いながら丁寧で優しい対応を心がけております。令和2年から新型コロナウィルスの影響で、これまで皆さんが楽しみにしてきた、旅行や外出・施設行事を盛大に行なう事ができなかつたので、これからは、出来ることを少しずつ増やして余暇の充実を図りたいと考えています。至らない点も多々あるかと思いますが、皆様のご意見を頂きながら、楽しい桜の里を築きたいと思っています。そして、いつも明るく風通しの良い桜の里でありたいと思います。



## リストアート

施設長 近藤 大介

中里ワークホームは今年で28年目を迎えます。今では和麺家中里や水稻など作業を行っていますが、ここまで糸余曲折を経てきましたと感じます。作陶や木工、ウッドデッキを作ったり、時代と制度に時には逆行することもあつたりと、利用者の生活と工賃アップを目指に支援を行い、今年は新たなスタートの年となりました。

3年間の自立期間、この3年間は私たち職員にとって大きな意味のあるものとなつたと思います。支援や作業の在り方、利用者一人ひとりの思い、そして家族の思い。私たちに再度振り返ることの大切さを教えてくれました。

中里ワークホームはこれからも、地域と共に歩める施設を目指していきたいと思います。そして、いつも明るく風通しの良い桜の里でありたいと思います。



## 地域の為に地域のニーズに応えるナカポツに！

センター長 金木 隆裕

障害者雇用のこれまでを考えると、雇用の数から定着率、そして今は企業側の雇用の「質」が問われる時代となりました。雇用率は令和6年4月から2.5%へ引き上げられ、更には2.7%になることも決まり、企業側にとつては採用と雇用管理の両面でこれまで以上の取り組みを求められると思います。

一方で地域の福祉を考えると、安房圏域にもA型やB型の就労系事業所が多く開所され、これまで地域の就労支援をリードする意識で取り組んできましたが、支援者の側の支援力底上げが必須であり、ナカポツはその為の基幹的（総合調整機能）役割としての機能が求められます。

特別支援学校高等部生徒の進路選択に早くから関わる事や、農福連携や生活困窮者支援等、それぞれの地域や機関で抱える課題においても各機関の強みを生かしての取り組みが「連携」＝「ネットワーク」であり、ナカポツはそのネットワーク構築においても点と点を「線」にして、今後はその線を強く太いものにしていくことも必要だと感じています。

ナカポツはよろづ相談所ではなく「最後の砦」である！

この様によく言われますが、企業も含めた強い地域ネットワーク構築を築き、地域の為に地域のニーズに応える社会資源となれるナカポツを目指し、取り組んでいきたいです。



## 『新生ワークス館山』

施設長 杉村 利之

福祉作業所から就労継続支援B型事業所に移行して、早いもので6年半が経ちました。この間、従前からの良いところは踏襲し、新たな独自色も加えながら「ワークス館山」の礎を築いてまいりました。多くの方々にご支援いただきながら、年々事業規模も拡大し、それぞれが有意義な活動に取り組める環境になってきたことを実感しております。

利用者一人ひとりの目標の実現を図るべく、仕事と余暇の更なる充実を目指し、自他相愛の理念の基、皆が笑顔で通つてくる施設づくりに努めてまいります。



こすもす

## 新年度を迎えて

施設長 押元 昇

今年は例年より早く桜が開花し、春の訪れを早く感じた4月でした。こすもす前の国道を体より少し大きめで更新しいフランドセルを背負った新一年生が学校の登下校をする姿は、毎年微笑ましくなる光景です。

幼稚園の卒園や高等部卒業、こすもすも卒業となり、最後の利用の時のお母さんの迎えの際に、「いつ昔話になり、「最初の頃はあーだったね」、「あんなことあったね」、「こんなこともあったね」などお互い笑ったり、つい涙が出そうになつたりした日々が過ぎ、4月になり、新しいお友達が増え新たなスタートを切っています。



中里  
ワークホーム

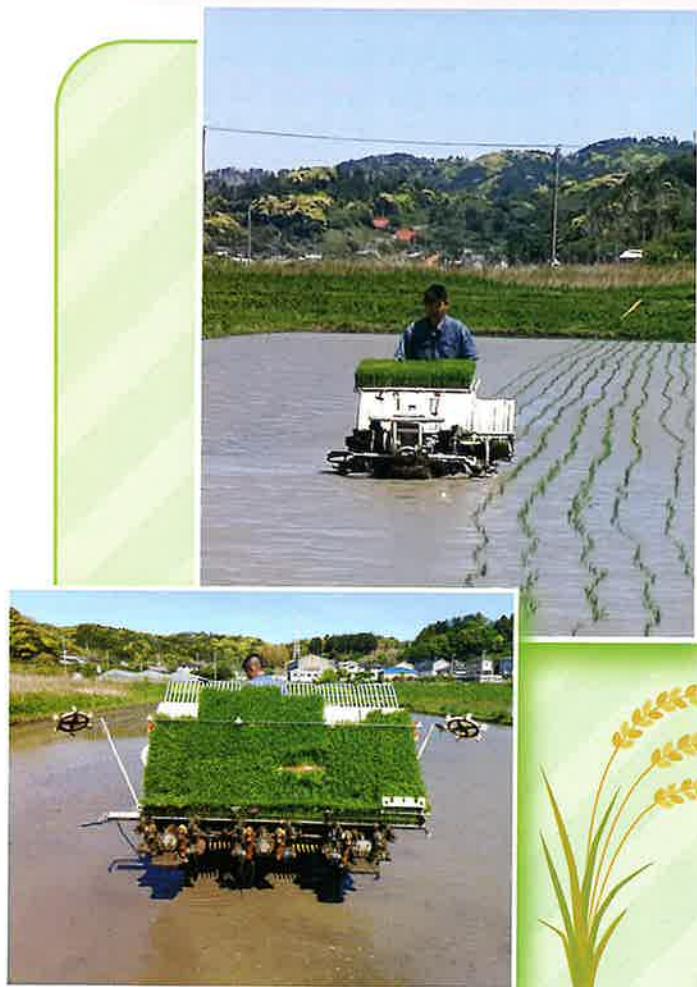
## いろいろあった今年の田植え

支援員 荒井 嘉世人

今シーズンの田植えが終わりましたが、振り返るといろいろとあります。一筋縄ではいきませんでした。

一番困ったのが、機械の故障、「今日から頑張って田植えを始めるぞっ!!」という矢先に、故障してしまい田植えがストップ、その日から故障しては修理、故障しては修理を数回繰り返し、機械をダマシダマシ使って今年も何とか植え終えることが出来ました。

「さなえ」(機械の名前)は安房広域福祉会全ての施設の食を支えるため頑張ってきてくれたので、とても感謝しています。「ありがとうございます。」「さなえが植えたお米が、ふれあいショップ平砂浦にて販売しているので、よろしくお願いします。



和麺家  
中里

## 館山で「富士山」を味わおう！

支援員 伊藤 学

皆さんは「日本一」といったら何を思い浮かべますか？日本には有名な名所や食べ物など、世界に誇れるものがたくさんあります。私は日本一としたらやっぱり「富士山」ですかね。幼い頃に家族で旅行に行つた際に、初めて田の前に広がる大パノラマは、今も鮮明に心に残っています。

ここ館山からでも、北条海岸から見える富士山はとても莊厳で「日本一」に相応しい佇まいを私たちに見せてくれます。そんな日本一をなんとか皆さんに味わって頂きたく……なんと、御用意致しました！ お蕎麦をどんどんと三人前！ の名付けて「富士盛りそば」。日本一の富士山に負けず劣らずの大迫力。しかも、頂上に大根おろしの「雪化粧」をあしらえ、まさに絶景。日本一の「富士山」を、ぜひ館山でご賞味くださいませ。



富士もりそば  
1,000円(税込)

### お問い合わせ先

和麺家中里

千葉県館山市北条1239-1  
0470(25)7322

営業日・時間

月～金曜日 11:30～13:30



最新情報はこちら



社会福祉法人  
安房広域福祉会HP

